

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年12月26日
【四半期会計期間】	第32期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	株式会社フォーバル
【英訳名】	FORVAL CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中島 將典
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号
【電話番号】	03 (3498) 1541(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 加藤 康二
【最寄りの連絡場所】	東京都江東区佐賀一丁目1番3号
【電話番号】	03 (6826) 8881
【事務連絡者氏名】	取締役 加藤 康二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年11月14日に提出した第32期第2四半期(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものがあります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、優成監査法人により、再度四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式(表示情報ファイルを含む)を提出いたします。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1)業績の状況

(2)キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

第4 経理の状況

2. 監査証明について

1 四半期連結財務諸表

(1)四半期連結貸借対照表

(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

(1株当たり情報)

独立監査人の四半期レビュー報告書

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線で示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第31期 第2四半期 連結累計期間	第32期 第2四半期 連結累計期間	第31期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(百万円)	16,090	16,566	32,287
経常利益(百万円)	328	305	665
四半期(当期)純利益(百万円)	185	236	464
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	318	335	795
純資産額(百万円)	5,240	5,814	5,714
総資産額(百万円)	15,052	15,757	16,277
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	13.65	17.44	34.25
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	31.6	33.9	32.0
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	791	356	1,184
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	27	107	125
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	443	604	555
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	3,675	3,503	3,858

回次	第31期 第2四半期 連結会計期間	第32期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	14.01	17.09

(省略)

(訂正後)

回次	第31期 第2四半期 連結累計期間	第32期 第2四半期 連結累計期間	第31期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(百万円)	16,090	16,566	32,287
経常利益(百万円)	328	318	671
四半期(当期)純利益(百万円)	185	246	331
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	318	348	618
純資産額(百万円)	5,240	5,650	5,537
総資産額(百万円)	15,052	15,593	16,100
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	13.65	18.14	24.41
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	31.6	33.5	31.5
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	791	356	1,184
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	27	107	125
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	443	604	555
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	3,675	3,503	3,858

回次	第31期 第2四半期 連結会計期間	第32期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	14.01	<u>17.44</u>

(省略)

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

(訂正前)

(省略)

利益面では、販売費及び一般管理費が前年同期に比べ232百万円増加したことで、営業利益は296百万円（前年同期比10.1%減）、経常利益は305百万円（前年同期比7.0%減）となりました。

また、前年同期に計上した資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額32百万円、事務所移転費用17百万円の特別損失の計上が無くなったことや、投資有価証券評価損が大幅に減少したことで特別損益が前年同期に比べ77百万円改善したこと等により、四半期純利益は236百万円（前年同期比27.7%増）となりました。

(省略)

(訂正後)

(省略)

利益面では、販売費及び一般管理費が前年同期に比べ220百万円増加したことで、営業利益は308百万円（前年同期比6.3%減）、経常利益は318百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

また、前年同期に計上した資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額32百万円、事務所移転費用17百万円の特別損失の計上が無くなったことや、投資有価証券評価損が大幅に減少したことで特別損益が前年同期に比べ77百万円改善したこと等により、四半期純利益は246百万円（前年同期比32.9%増）となりました。

(省略)

(2)キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

(訂正前)

営業活動の結果獲得した資金は356百万円（前年同期比55.0%減）となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益が298百万円、減価償却費が172百万円、売上債権の減少による資金の増加が515百万円あったのに対し、仕入債務の減少による資金の減少が347百万円、たな卸資産の増加による資金の減少が195百万円あったことによるものです。

(訂正前)

営業活動の結果獲得した資金は356百万円（前年同期比55.0%減）となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益が311百万円、減価償却費が172百万円、売上債権の減少による資金の増加が515百万円あったのに対し、仕入債務の減少による資金の減少が347百万円、たな卸資産の増加による資金の減少が195百万円あったことによるものです。

第4 【経理の状況】

2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について優成監査法人による四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について優成監査法人による四半期レビューを受けております。

また、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、優成監査法人による四半期レビューを受け、改めて四半期レビュー報告書を受領しております。

—

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
(中略)		
固定資産		
有形固定資産	955,364	996,764
無形固定資産		
のれん	939,239	876,368
その他	306,490	240,907
無形固定資産合計	1,245,730	1,117,275
投資その他の資産		
投資有価証券	2,962,391	3,173,286
その他	1,386,649	1,294,800
貸倒引当金	529,252	525,573
投資その他の資産合計	3,819,789	3,942,513
固定資産合計	6,020,883	6,056,554
繰延資産	5,029	3,690
資産合計	16,277,571	15,757,695
(中略)		
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,488,479	2,488,479
利益剰余金	2,527,948	2,494,898
自己株式	101,562	101,608
株主資本合計	4,009,263	4,042,266
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,203,050	1,308,595
為替換算調整勘定	851	2,987
その他の包括利益累計額合計	1,202,199	1,305,607
少数株主持分	502,958	466,941
純資産合計	5,714,421	5,814,815
負債純資産合計	16,277,571	15,757,695

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
(中略)		
固定資産		
有形固定資産	955,364	996,764
無形固定資産		
のれん	762,273	712,042
その他	306,490	240,907
無形固定資産合計	1,068,763	952,949
投資その他の資産		
投資有価証券	2,962,391	3,173,286
その他	1,386,649	1,294,800
貸倒引当金	529,252	525,573
投資その他の資産合計	3,819,789	3,942,513
固定資産合計	5,843,916	5,892,228
繰延資産	5,029	3,690
資産合計	16,100,604	15,593,369
(中略)		
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,488,479	2,488,479
利益剰余金	2,661,363	2,618,784
自己株式	101,562	101,608
株主資本合計	3,875,848	3,918,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,203,050	1,308,595
為替換算調整勘定	851	2,987
その他の包括利益累計額合計	1,202,199	1,305,607
少数株主持分	459,407	426,500
純資産合計	5,537,454	5,650,489
負債純資産合計	16,100,604	15,593,369

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	16,090,545	16,566,987
売上原価	11,540,951	11,817,978
売上総利益	4,549,593	4,749,009
販売費及び一般管理費	4,220,078	4,452,810
営業利益	329,514	296,199
(中略)		
経常利益	328,791	305,628
(中略)		
税金等調整前四半期純利益	244,521	298,667
法人税、住民税及び事業税	118,675	65,625
法人税等調整額	64,703	864
法人税等合計	53,971	66,489
少数株主損益調整前四半期純利益	190,549	232,178
少数株主利益又は少数株主損失 ()	5,401	4,324
四半期純利益	185,147	236,502

(訂正後)

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	16,090,545	16,566,987
売上原価	11,540,951	11,817,978
売上総利益	4,549,593	4,749,009
販売費及び一般管理費	4,220,078	4,440,170
営業利益	329,514	308,839
(中略)		
経常利益	328,791	318,268
(中略)		
税金等調整前四半期純利益	244,521	311,308
法人税、住民税及び事業税	118,675	65,625
法人税等調整額	64,703	864
法人税等合計	53,971	66,489
少数株主損益調整前四半期純利益	190,549	244,818
少数株主利益又は少数株主損失 ()	5,401	1,213
四半期純利益	185,147	246,032

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	190,549	232,178
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	128,658	104,340
持分法適用会社に対する持分相当額	952	1,026
その他の包括利益合計	127,706	103,314
四半期包括利益	318,255	335,492
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	312,395	339,910
少数株主に係る四半期包括利益	5,859	4,418

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	190,549	244,818
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	128,658	104,340
持分法適用会社に対する持分相当額	952	1,026
その他の包括利益合計	127,706	103,314
四半期包括利益	318,255	348,132
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	312,395	349,440
少数株主に係る四半期包括利益	5,859	1,307

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	244,521	298,667
減価償却費	179,530	172,527
のれん償却額	83,966	89,842
(中略)		
小計	824,641	461,341
(省略)		

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	244,521	311,308
減価償却費	179,530	172,527
のれん償却額	83,966	77,202
(中略)		
小計	824,641	461,341
(省略)		

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

(省略)

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(省略)

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	373,230
「その他」の区分の利益	4,890
セグメント間取引消去	13,512
のれん償却額	73,542
棚卸資産調整額	5,133
四半期連結損益計算書の営業利益	296,199

(省略)

(訂正後)

(省略)

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(省略)

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	373,230
「その他」の区分の利益	4,890
セグメント間取引消去	13,512
のれん償却額	60,902
棚卸資産調整額	5,133
四半期連結損益計算書の営業利益	308,839

(省略)

(1株当たり情報)

(訂正前)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	13円65銭	17円44銭
(算定上の基礎)		—
四半期純利益金額(千円)	185,147	236,502
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	185,147	236,502
普通株式の期中平均株式数(千株)	13,563	13,563
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(省略)

(訂正後)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	13円65銭	18円14銭
(算定上の基礎)		—
四半期純利益金額(千円)	185,147	246,032
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	185,147	246,032
普通株式の期中平均株式数(千株)	13,563	13,563
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(省略)

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年12月25日

株式会社フォーバル

取締役会 御中

優成監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 加藤 善孝 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 須永 真樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フォーバルの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フォーバル及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成23年11月11日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。